

新計算機システムの紹介

Introduction of New Computer System

川田工業(株)・技術本部

1. 概要

現在、当社電算センターに導入されているコンピュータシステム、UNIVAC1100/71は、昭和59年1月に同1100/61からグレードアップしたものである。これは、前システムを昭和55年に導入して以来、業務量の増加と共にメモリー・ディスク・プリンタ等のレベルアップを行ってきたが、能力の限界に達したため、全社的なコンピュータシステムのレベルアップの一環として実施されたものである。

他に、端末機を会話処理・日本語処理の可能なものに変更し、分散処理用サブホストマシンの導入を行った。

2. 導入経過

1) ホストマシン

昭和59年1月～4月 電算センター

- ① UNIVAC 1100/71
- ② コミュニケーション・ネットワークプロセッサ DCP/40
- ③ ディスクチャネル・デュアル化

2) 会話処理・日本語処理端末

昭和60年4月～9月 富山・大阪・四国

- ① UTS50・DS7
- ② 0469型日本語ライン・プリンタ

3) 分散処理用サブホストマシン

昭和60年8月 大阪支社

- ① UNIVAC SYSTEM11

3. あとがき

今回のレベルアップは、マシンの性能アップを計ると共に、エンドユーザ部門に端末機を最低1台以上設置することを目的として行った。この結果、オンライン端末数は50台以上に増えておりトラブルの数も比例して増えてきた。

今後は、リモートの構内回線も含めた全社的な、回線の監視態勢について検討する必要があると思われる。

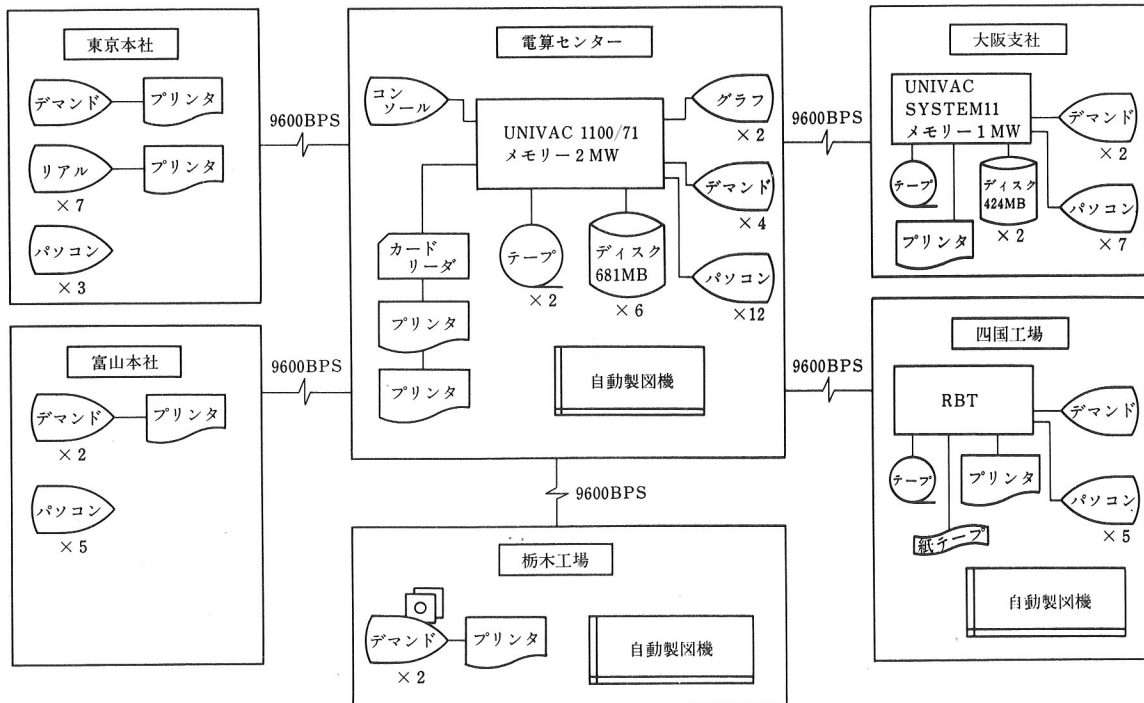


図-1 全社ネットワーク